

平成29年12月14日  
 東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

<b>標 題</b>	出雲地域の稲WCS，更なる品質向上に向けて ～その4：WCS用稲の栽培こよみを作成～
------------	---

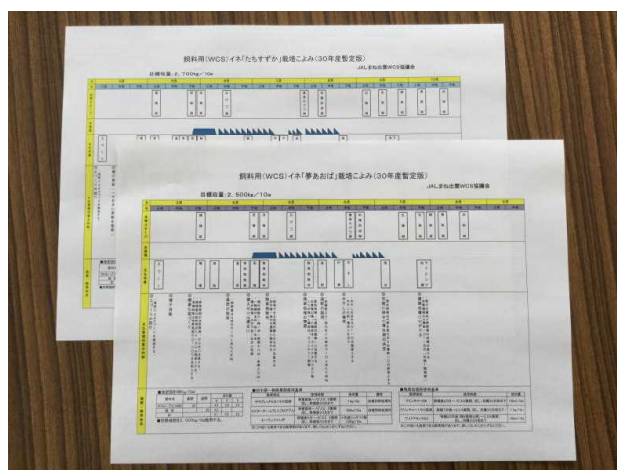
(ダイジェスト)

J Aしまね出雲地区本部では、平成27年に稲WCSの生産者と実需者によりJ Aしまね出雲WCS協議会を結成し、高品質な稲WCSの生産と安定供給を推進しています。このほど平成30年産に向けたWCS用稲の栽培こよみを作成し、生産者に配布しました。

J Aしまね出雲WCS協議会は毎年度、稲WCSの生産技術向上に向けた研修会や栽培講習会等の取組を行っていますが、WCS用稲の栽培に関する統一した栽培こよみが無く、生産者はJ A各営農センターの指導や、生産者同士の情報交換に基づいて栽培を行っているのが現状です。

そこで、地区本部管内で作付面積の多いWCS用稲「夢あおば」と「たちすずか」について、平成29年産の生育状況や生産者の栽培履歴、農業技術センターのアドバイスに基づき、栽培こよみを作成しました。そして12月8日に開催された「平成29年度飼料用稲WCS生産技術品質向上研修会」で配布し、特に次の5つの栽培ポイントについて情報提供を行いました。

- ①堆肥施用による土づくり
- ②初期生育の確保（特に夢あおばでは重要）
- ③雑草防除の徹底
- ④中干しの徹底と適期落水
- ⑤適期収穫



<出来上がったWCS用稲栽培こよみ>

農業普及部では30年度に栽培こよみに基づいた栽培の検証を行い、さらに高品質、高収量をめざし栽培こよみを改訂していく予定です。